

取組内容	どのように「日常的なにぎわいの実現」に繋げるのか	事業実施主体	1年目(令和7年度)		2年目(令和8年度)		3年目(令和9年度)		4年目(令和10年度)		5年目(令和11年度)			
			上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期		
<1.たまり場> 誰でも気軽に交流できる場「たまり場」を定期的に開催し、地域の情報や各グループ・団体の取組状況等を共有するとともに、新たな出会いの創出や空き店舗の活用、起業等につなげる。	主に、以下のテーマの情報交換、共有、発信等を行い、地域コミュニティ(人と人との結びつき)を強化する。 ①まちづくりのアイデア出し ②起業者の応援 ③地域おこし協力隊等、移住者(1ターン、Uターン)への情報提供 ④空き店舗・空き家、事業承継、雇用の情報の提供・共有 ⑤メンバー間の活動状況の共有 なお、「たまり場」の開催は振興計画の対象エリア内の既存店舗の利用や飲食物の購入等により、店主や関係者の巻き込みを図る。	交流の場づくりグループ	たまりば(1回／月)											
			誰でも気軽に参加できる交流の場「たまり場」の開催 ＜目標：毎月開催＞		誰でも気軽に参加できる交流の場「たまり場」の開催 ＜目標：毎月開催＞		誰でも気軽に参加できる交流の場「たまり場」の開催 ＜目標：毎月開催＞		誰でも気軽に参加できる交流の場「たまり場」の開催 ＜目標：毎月開催＞		誰でも気軽に参加できる交流の場「たまり場」の開催 ＜目標：毎月開催＞			
			空き店舗、空き家を活用したフリースペース検討・開設準備											
			空き店舗、空き家を活用したフリースペースの開設											
<2.軽トラマルシェ> 軽トラやリヤカー等を使ったマルシェを商店街で開催することで、市内外から集客し、日曜日のような賑わいを創出する。また、農福連携に取り組む就労継続支援B型事業所「TEAMあき」や高校生など幅広い人達がイベントを通じて交流することで、社会とつながるきっかけづくりとなる機会も創出する。	第1期振興計画に基づき取り組んだ「軽トラマルシェ」の活動を継続するとともに、振興計画に基づく取り組みや地域で行われている既存の取り組みと連携することで、地域との更なる交流と農福連携のPRを促進し、子どもから大人までの多世代を対象とした交流人口の増加を図る。 また、既存の取り組みや地域の事業者等との連携により、イベント実施に伴う経済波及効果の創出を図る。	(主担) イベントグループ 軽トラマルシェ実行委員会(委員長:松本健) (サポート) こうち絆ファーム、安芸本町商店街振興組合、JA高知県安芸支所、地域活動支援センターニコスマイル、高校生など	軽トラマルシェ継続開催											
			土曜日イベント開催		土曜日イベント開催		土曜日イベント開催		土曜日イベント開催		土曜日イベント開催			
			農福連携チラシ配布											
			あきコスと再コラボ		軽トラマルシェ・高校生マルシェ共催		地域施設で出張マルシェ(保育園、小学校、介護施設)		子ども食堂と連携		軽トラ日曜日開催に向けた資金調達		軽トラ日曜日開催	
<3.高校生マルシェ> 高校生とともに安芸市中心商店街等で開催されるイベントに出店し、若者の興味のある催しを行うことで、若者と地域住民との交流を図ると共に、商店街も含めた安芸のまちへの愛着を育み、まちのにぎわいを創出する。	第1期振興計画に基づき取り組んだ「高校生マルシェ」の活動を継続するとともに、地域で行われている既存の取り組みと連携することで、地域との更なる交流を促進し子どもから大人までの多世代を対象とした交流人口の増加を図る。 また、活用可能な空き店舗等において、高校生等が興味をもつ取り組みの実施に挑戦することで、事業運営の魅力を発見するきっかけとなり、将来の起業家育成を図る。	商店街魅力向上委員会(委員長:並村努)、本町Aki&、安芸高校生、地域の商工業者など	高校生マルシェ継続出店(3回／年)											
			土曜日イベント開催		土曜日イベント開催		土曜日イベント開催		土曜日イベント開催		土曜日イベント開催			
			空き店舗での高校生イベント(1回／月)											
			イベント出店等の基本的なマニュアル作成		軽トラマルシェ・高校生マルシェ共催		地域施設で出張マルシェ(保育園、小学校、介護施設)		子ども食堂と連携		小中学生と連携した高校生マルシェの運営(未来の高校生マルシェ人材育成)		子ども食堂と連携	
<4.日常の営み+α> 中心商店街等において、店舗及び空き地ならびに空き店舗等を活用して、日常の営みに+αとなる取り組みを行い、地域内の住民や事業者の交流を更に促進し連携を深めることで、中心市街地の一体感を醸成する。また、地域にある魅力的なコンテンツを活用した取り組みを行い地域の更なる周知を図ることで、エリアの魅力向上を図る。	商店街店舗や住民等地域の有志が、本業や趣味等の様々なワークショップを各店舗等で開催することで、その店舗等に足を運ぶきっかけを作るほか、ワークショップ等を通じて将来商店街等で起業するきっかけを作ることでエリア内のにぎわい創出につなげる。	未定 (想定される団体など: 安芸本町商店街振興組合、地域活動支援センターニコスマイル、社会福祉法人土佐厚生会、安芸青年会議所、地域の商工業者など)	商店街でラジオ体操											
			ワークショップ開催に向け ・先進事例の勉強(まちゼミ等) ・開催方法等検討 ・ワークショップ計画書作成		商店街有志ワークショップ開催(本業に限らない料理教室、裁縫、音楽、夏休みの工作等)								ワークショップを通じた空き店舗等へのチャレンジ出店等実施	
			ワークショップ成果発表会		ワークショップ成果発表会		市内文化祭を同時開催(総合文化祭)							
			季節イベント開催(ひな祭り、花見会、七夕、お月見、ハロウィン、クリスマス等)											
<5.観光コンテンツの造成> 中心商店街等を核としその周辺地域も含めたエリアにおいて、地域資源の新たな魅力を発掘するとともにその資源の活用策を検討する。 また、既存資源を活用した取り組みを行うことにより、エリアにおける観光地としての魅力を発信する。	地域住民と連携しながら既存資源の新たな魅力作りに取り組むほか、空き店舗や空き地等も活用した観光コンテンツの造成を図ることで、安芸市外の方へもこれまで以上に地域の魅力を発信し交流人口の拡大を図る。	未定 (想定される団体など: 安芸本町商店街振興組合、地域活動支援センターニコスマイル、社会福祉法人土佐厚生会、安芸青年会議所、あきコス☆実行委員会、地域の商工業者など)	コスプレイヤー等の撮影・入店可能な場所の増加に向けた交渉		商店街等でのあきコス夏祭り開催		空き店舗の撮影可能エリア化に向けた交渉		音楽イベント開催		空き店舗等へのチャレンジ出店等実施			
			月1回Youtubeでの番組作り		土居廊中を活用したイベント開催(武士コスプレでの練り歩き、時代劇作り等)		昭和レトロな飲食店等 ゴーア라운드ツアー開催		昭和レトロな飲食店の名物ママとオンライン飲み会開催					
			まち歩きMAPを使ったまち歩きツアー開催											
			シャッター等の活用(アートイベントや書道パフォーマンス等)											
シャッター等の活用に向けて ・開催方法等検討(活用策、ペイントテーマ、協力者募集方法、資金調達方法等) ・協力者募集、調整										シャッターペイントコンテスト開催 (有名人、アーティスト招聘)				

アクションプラン(行動計画)

NO.2

取組内容	どのように「日常的なにぎわいの実現」に繋げるのか	事業実施主体	1年目(令和7年度)		2年目(令和8年度)		3年目(令和9年度)		4年目(令和10年度)		5年目(令和11年度)		
			上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	
<p><6.安芸市の魅力の発見・可視化・発信></p> <p>第1期振興計画に基づき安芸市全域および中心商店街の魅力を発掘・整理し、アーカイブ化するとともに、地域の価値を高めるコンテンツを創出。観光促進や地域活性化につながる仕組みを構築する。</p> <p>①まち歩きマップの改訂・増刷・発信 ・地域のストーリーを伝えるWebマガジンを構築し、多角的な情報発信基盤を確立 ・改定時は継続して住民視点での取材・記事制作を推進 ・5年以内に1回の改訂を行い、最新の地域情報を反映しながら価値を高める</p> <p>②多様なマップ展開と地域特性の可視化 ・地域別マップの作成(例:赤野地区、土居地区、商店街店舗など)、地域ごとの特色や魅力を深掘り</p> <p>③「自然歩きマップ」開発への情報蓄積 ・自然環境の変化や地域の資源を把握し、環境保全・エコツーリズムにつなげる ・他地域との比較を通じて安芸市の独自性を際立たせる ・調査データの蓄積により、今後の地域づくりや観光施策の基盤を形成</p>		(実施主体) 情報発信グループ For the future (サポート) 安芸高校 四国銀行 安芸本町商店街振興組合 安芸商工会議所											
			③自然歩きマップによる調査を年1回程度開催。 調査結果をWebマガジンに掲載		①日本語版、英語版ともになくなった時点で増刷。魅力的な店舗などが中心商店街等に増えた時点で見直し、再取材、再発行								
					②魅力的な店舗が地域毎に増えた時点で、第1弾を取材、制作、発行。その後、増刷								

アクションプラン(行動計画)

NO.3

取組内容	どのように「日常的なにぎわいの実現」に繋げるのか	事業実施主体	1年目(令和7年度)		2年目(令和8年度)		3年目(令和9年度)		4年目(令和10年度)		5年目(令和11年度)			
			上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期		
<9.商店街×若者> 地域住民が気軽に参加でき、定期開催の負担が少ない催しを通じて、商店街の賑わいを育む仕組みを構築する。特に、空き店舗での図書館カフェなど、地域に馴染みのある場所を活用し、人が集まりやすい環境を整備する。 ①取り組みの例 ①-1 本町通 無人図書館の市店舗や民家の軒先を活用し、住民の蔵書を自由に持ち寄り、気軽に交換・購入できる仕組みを導入。本好きの交流の場となり、商店街への回遊性を高める。 ①-2 空き店舗×地域イベントの定期開催 空き店舗を期間限定のギャラリーやポップアップカフェ、ワークショップスペースとして活用し、地域住民やクリエイターの発表・交流の場を提供。 ①-3 街なか井戸端スポット&緑化プロジェクト 少額予算で実現可能な街路の美化やベンチの設置を定期的に行い、商店街の居心地を向上。住民と来街者が自然と集まる環境を整える。 ②運営体制と支援制度 ②-1 ノウハウ&備品貸出の窓口設置 本町商店街振興組合が、イベント開催のノウハウ提供や備品貸出支援を行い、新規の個人・団体がスムーズに参入できる体制を構築。 ②-2 共創型のまちづくり支援 住民・事業者・関係団体が協力し、少額予算で持続可能な改善策を積み重ねることで、商店街の魅力を段階的に向上させる。 ②-3 SNS・メディア活用による発信強化 イベントや取り組みの様子・支援情報を継続的に発信し、地域内外からの関心を高める。	〇地域交流の活性化 店主・住民・来街者が自然と関わる機会を増やし、商店街全体のつながりを強化。 〇商店街のPRと認知度向上 小さな変化を継続的に発信することで、地域内外に商店街の魅力を伝え、来訪者を増やす。 〇新たなビジネス・コミュニティの創出 イベントや空間の活用を通じて、起業家やクリエイターがチャレンジしやすい環境を提供。新たな事業や文化的活動の芽を育てる。	(実施主体) 情報発信グループ For the future 安芸本町商店街振興組合 ②は、安芸市中心商店街等振興協議会全グループで実施 (サポート) 安芸商工会議所 安芸本町商店街振興組合 交流の場づくりグループ 安芸市中心商店街等振興協議会	安芸市の空き店舗バンク、安芸市商工会議所などと協力して、人を呼べる魅力的な空き家の発掘と大家さん交渉を継続して行う											
			①利用できる空き店舗、空き家、スペースが増えた時点で、企画を考案、実施											
			②実施に向けて検討(全グループで)											
<10.全国「商い甲子園」大会> 高校生の商い力を競う体験の場や高校生、安芸市民等との交流の場として、さらに安芸本町商店街や各々の地域がより元気になることを願って開催する。	第17回大会に実施した「商い甲子園応援スタンプラリー」を継続実施し、個店と大会の集客効果を高める。また、三菱グループの創業者・岩崎彌太郎の生誕地に因んで、大会前日に開催する商い実践講座に「起業・創業」をテーマとする講座を新設し、高校生等の起業家マインド醸成の一助とする。さらに、大会を継続することで他地域との関わりが深まり、関係人口の創出につながることも期待できる。	(主催) 全国「商い甲子園」大会実行委員会 (共催) 安芸本町商店街振興組合 安芸商工会議所 安芸市観光協会(協力) 安芸高校ほか(協賛予定) 三菱広報委員会 安芸法人会 安芸金融協会	店舗抽選会 応援スタンプラリー 商い実践講座 かがりビーチとコラボ 本町ハロウィンとコラボ 出場校募集(6～8月) 大会のふりかえり(11～12月) 出場校へのフィードバック(12月) 次回大会の企画(1月～)	第18回大会(10月26日)	店舗抽選会 応援スタンプラリー 商い実践講座 コラボイベントの検討 出場校募集(6～8月) 大会のふりかえり(11～12月) 出場校へのフィードバック(12月) 次回大会の企画(1月～)	第19回大会(10月)	店舗抽選会 応援スタンプラリー 商い実践講座 コラボイベントの検討 出場校募集(6～8月) 大会のふりかえり(11～12月) 出場校へのフィードバック(12月) 次回大会の企画(1月～)	第20回記念大会(10月)	店舗抽選会 応援スタンプラリー 商い実践講座 コラボイベントとの検討 出場校募集(6～8月) 大会のふりかえり(11～12月) 出場校へのフィードバック(12月) 次回大会の企画(1月～)	第21回大会(10月)	店舗抽選会 応援スタンプラリー 商い実践講座 コラボイベントの検討 出場校募集(6～8月) 大会のふりかえり(11～12月) 出場校へのフィードバック(12月) 次回大会の企画(1月～)	第22回大会(10月)	店舗抽選会 応援スタンプラリー 商い実践講座 コラボイベントの検討 出場校募集(6～8月) 大会のふりかえり(11～12月) 出場校へのフィードバック(12月) 次回大会の企画(1月～)	
			移住相談会に出席	移住希望者のフォローアップ	移住相談会に出席	移住希望者のフォローアップ	移住相談会に出席	移住希望者のフォローアップ	移住相談会に出席	移住希望者のフォローアップ	移住相談会に出席	移住希望者のフォローアップ		
			空き店舗の実態把握(随時)											
			創業相談対応(随時)											
<11.起業ニーズの発掘と起業支援> 高知県主催の移住相談会(東京、大阪)に出席し、高知県移住(1.Uターン)に関心を持つ方に安芸市での起業支援に係る情報を提供し、起業ニーズを持つ方に対し、メール、電話、ZOOMによるフォローアップを行う。 安芸市での起業希望者に対して創業計画策定支援、資金繰り相談、店舗物件の紹介等を行う。なお、店舗物件の紹介に当たっては、安芸市役所の「空き店舗バンク」とも連携する。	移住・起業支援を実施することで、関係人口から移住・定住人口創出への道筋を作る。	安芸商工会議所 市内不動産業	商工会議所空き店舗活用検討											
			たまり場案内 軽トラマルシェ等 出店案内	たまり場案内 軽トラマルシェ等 出店案内	たまり場案内 軽トラマルシェ等 出店案内	たまり場案内 軽トラマルシェ等 出店案内	たまり場案内 軽トラマルシェ等 出店案内	たまり場案内 軽トラマルシェ等 出店案内	たまり場案内 軽トラマルシェ等 出店案内	たまり場案内 軽トラマルシェ等 出店案内				
			■創業支援 ・創業計画書策定支援等 ■ニーズに応じた個者支援の実施 ・事業計画策定支援 ・プロモーション強化支援 ・新商品開発支援 (ふるさと納税返礼品や域外への販路開拓等) ・展示会出展支援等 ■事業承継・引継ぎ支援センターとの連携											
<12.スタートアップ支援> 起業直後のスタートアップ期に、「たまり場」への参加を促し、困りごと相談、人脈づくり、情報発信等を応援する。また、認知度を高めるため、「軽トラマルシェ」、「すまいるマルシェ#安芸エール飯」等への出店案内を行う。	起業者(移住者を含む)との新たな交流・連携により、地域コミュニティのひろがり期待できる。また、移住・起業者が地域コミュニティに早期に参加することで安芸市のことを早く知ることが出来、定住につながる可能性が高くなる。	安芸商工会議所 たまり場メンバー	たまり場案内 軽トラマルシェ等 出店案内	たまり場案内 軽トラマルシェ等 出店案内	たまり場案内 軽トラマルシェ等 出店案内	たまり場案内 軽トラマルシェ等 出店案内	たまり場案内 軽トラマルシェ等 出店案内	たまり場案内 軽トラマルシェ等 出店案内	たまり場案内 軽トラマルシェ等 出店案内	たまり場案内 軽トラマルシェ等 出店案内	たまり場案内 軽トラマルシェ等 出店案内	たまり場案内 軽トラマルシェ等 出店案内		
<13.伴走型支援> 「元気で強い店」づくりを目標に、既存店舗(起業店舗を含む)の商品開発、販路開拓、情報発信等の伴走型支援を行う。特に、安芸市の主要産業である1次産業者が自ら行う販路開拓や、地域の商工業者と連携した商品開発を重点的に支援する。	中心商店街等のエリアで、集客力を持つ魅力的な店舗が増えることで新たな人流の創出が期待できる。	安芸商工会議所												